



# 「宇美町読書の日」 子どもの本だな 冬号 児童版



うみちやうりつとしよかん  
宇美町立図書館

## 【クリスマスの子犬】

R.G.イントレーター：作  
文研出版 J933 イ



ザッチの愛犬ティナは、いたずらざかり。ある日、ティナがうら庭から脱走! ザッチたちは、ティナの帰りを寝ないで待ちますが…。「クリスマス」の意味を考えさせられる、心温まるお話。

## 【ふゆのものがたり】

ルース・エインズワース：作  
福音館書店 J933 エ



ダークは真夜中に、誰かが窓をたたく音で目をさました。次の日、森へ出かけたダークはそこでトナカイに会いました。「友だちがほしかったんだ」毎日ダークとトナカイは遊んでいたのですが、ある日…。



しよ めい  
書 名

ちよ しよ めい  
著 者 名

しゅつばんしゃ  
出版社

ぶん るい  
分 類



### 【えほん】

- ・「くまくん、はるまでおやすみなさい」ブリッタ・テッケントラップ：作・絵 徳間書店 Eク
- ・「クマですが、イヌです」ダイアン・フォックス：作 光村教育図書 Eク
- ・「さむがりペンギン」コンスタンツェ・フォン・キッツィング：作 小学館 Eサ
- ・「十二支のおもちつき」すとう あさえ：さく 童心社 Eジ
- ・「クリスマスイヴの木」デリア・ハディ：文 BL出版 対1Eク
- ・「こどものこよみしんぶん」内田 かずひろ：絵 文化学園文化出版局 対1Eコ
- ・「雪ふる夜の奇妙な話」大野 隆介：作 ロクリン社 対2Eユ

### 【よみもの】



- ・「クリスマスがちかづく」と 齊藤 倫：作 福音館書店 J913 サ
- ・「こまったさんのグラタン」寺村 輝夫：作 あかね書房 J913 テ
- ・「パンダのポンポン」野中 柊：作 理論社 S913 ノ
- ・「犬ぞりの少年」J.R.ガーディナー：作 文研出版 J933 ガ
- ・「オリエント急行の殺人」アガサ・クリスティアー：著 早川書房 J933 グ
- ・「ライオンと魔女」C.S.ルイス：作 岩波書店 J933 ル

### 【その他の本】

- ・「イラストでわかる日本の伝統行事・行事食」合同出版 J386 イ
- ・「よむプラネタリウム冬の星空案内」野崎 洋子：文 アリス館 J443 ノ
- ・「冬眠のひみつ」近藤 宣昭：監修 PHP 研究所 J481 ト
- ・「学校の保健室 1 友だちがインフルエンザになっちゃった!」宇津木 聡史：文 星の環会 J492 ウ



まいつき にち うみまちどくしょ ひ  
毎月23日は「宇美町読書の日」





# 「宇美町読書の日」 子どもの本だな ふゆごう



うみちょうりつとしまかん  
宇美町立図書館

## 【ペネロペゆきあそびをする】

アン・グットマン：ぶん  
岩崎書店 タナ3Eペ



わたしペネロペ。今日はお山でゆきあそび。ゆきだるまをつくったり、ゆきがっせんをしたりするよ。そりすべりをしていたら、そりから落ちちゃって…。

## 【だじゃれ十二支】

じゅうにし  
中川 ひろたか：文  
世界文化社 Eダ



馬はおいしいものが大好き。むしゃむしゃ食べて、こういうの。「うまっ!」だじゃれとユーモアあふれるイラストで、十二支を楽しみながら覚えられ  
る絵本。

## 【おいしそうなしろくま】

柴田 ケイコ：作・絵  
PHP 研究所 Eオ



食べることが大好きな、くいしんぼうのしろくまは、「食べもののなかにはいってみたら、どんなかんじかな?」と想像してみることにしました。ごはん、味噌汁、たまご焼き、スパゲッティ…。どうなるかな?

## 【ゆき、まだかなあ】

マーシャ・ダイアン・アーノルド：文  
光村教育図書 Eユ



雪が降るのを待っているあなぐまは、うさぎ、ハタネズミ、オポッサムと協力して、雪を降らせようといういろいろなことを試してみますが、雪は降りません。

## 【そらとぶそりとねこのタビー】

C.ロジャー・メイダー：作・絵  
徳間書店 Eソ



知らない人の足音で目を覚ました猫のタビーは、そのおじいさんの持ってきた袋に入り込み…。おじいさんの正体は?

## 【ゆきみちさんぽ】

えがしら みちこ：作  
講談社 Eユ



雪が降り積もった日。女の子はお気に入りのマフラーをまいて、帽子に手袋、ブーツをはいて、お出かけします。雪道をさくさく歩いていくと、赤い椿の花や、きれいなつららを見かけて…。

## 【おふろやさんのまねきねこ】

とよた かずひこ：さく・え  
ひさかたチャイルド AGEオ



まねきねこさんが、動物の親子をおふろにご案内。でも、まねきねこさんは、お仕事が終わると…? ユーモアたっぷりの「ほかほかおふろ」シリーズ第8弾。

## 【パパおふろ】

きくち ちき：作  
文溪堂 AP Eパ



くまちゃん、パパといっしょにおふろに入るのがだーいすき。なぜって、とっておきのお楽しみが待っているからです。それはいったい何かということ…。「パパ、もういっかい!」の音がきこえる、ふれあい絵本。



まいつき 毎月23日は「宇美町読書の日」



H29. 12